

きぼう

明石市立大久保北中学校 第1学年
学年通信 第61号
平成30年10月19日(金)

一瞬一瞬の積み重ねが人生だ。どんな時にもバスをしてはいけない。

学校ホームページ URL : http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

キャリア学習レポートが完成

10月2日に行われました『キャリア学習』のレポートが完成し始めました。今回の学習活動では事前学習を行って各会社へ質問を送り、実際の会社を見学してから質問の答えをいただきました。神戸新聞社、森永乳業、キューピーの3社には丁寧に回答をいただき、34回生の学習に対してご協力いただきました。学校にもどり、まとめの学習を行い各クラスで大きな模造紙に班の活動報告を作成しています。どの班も見ている人がわかりやすいように丁寧な字で書かれていたり、色ペンやイラストなどを使って作成されています。まずは3組『神戸新聞社』の発表を報告します。

3組 神戸新聞社のレポート内容

1. 会社の歴史、沿革
2. 大久保北中学校に新聞が到着するまで
3. 新聞ができあがるまでにどんな仕事があるのか。

取材→デスク会議→編集→広告→製作→印刷→発送→販売店

4. Q&A

Q…1日何時間ぐらい働きますか？

A…9時間程度です

Q…記事にする事がない時はどうしますか？

A…そんな事は無い

Q…災害の時にはどう対応したのか？

A…京都新聞に機械を借りた

Q…1日に発行される部数はどれくらいですか？

A…約51万部

Q…社員数は何人ですか？

A…社員800人(記者数:300人)

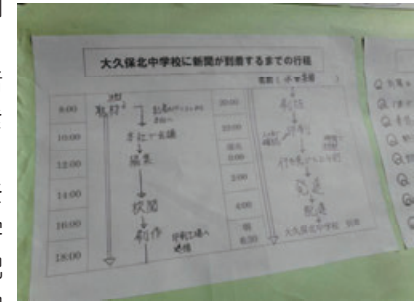


5. レポートまとめ

私たちは神戸新聞社の本社を見学しました。神戸新聞社の社員の皆さんは私たちのところに新聞が届くまでたくさんの工夫をしています。まず、記事は「兵庫らしい」「地域に合った」記事を選んだりして、身近な情報を得ることができます。また「週刊まなびー」やデイリースポーツを発行していろいろな人が新聞に興味を持ってくれるように工夫しています。編集している記事にも工夫が隠されています。特に見出しはその記事の結論が分かるように短く、分かりやすくまとめられています。そして、最大の工夫はその地域に近い情報を集めて届けるという工夫です。姫路、但馬、神戸方面で分かれて新聞を発行しています。 [3組 6班より]



今日、神戸新聞の本社に行って、色々なことを知り、学びました。神戸新聞社の社員は約800人、そのうち300人程度が記者となっています。記者という仕事はすごく多い量の仕事をするので聞き驚きました。その取材をした情報を編集会議で整理し、その出た案を編集という課程で、しっかりと新聞を作っていきます。編集の時には校閲をし、誤字脱字をなおしていきます。できたその新聞を印刷し、配送されてみんなの所に届くようになっています。神戸新聞はできてから今まで阪神大震災でも1度も休まずにずっと新聞をつくって届けていることを知り驚きました。新聞を作る時にも常に読者の事を考えてつくっているのすごいいいと思いました。今回、神戸新聞社に行っているいろいろなことを学ぶことができ良かったです。 [3組 3班より]



* レポートはオープンスクールの時に廊下に掲示します。

★★毎学終了★★

～10月17日(水)

13冊目… 12冊目… 11冊目…
10冊目… 7冊目…
6冊目… 5冊目…
4冊目…
3冊目…
2冊目…